



令和 7 年度運営評議会

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
法人全体のトピックスについて

法人設立10周年を機に 英語略称とロゴを刷新しました！

法人略称 ()内：読み方

2025.4.1 -

NIBIOHN
(ニビオン)



NIBN
(エヌ・アイ・ビー・エヌ)

ロゴ



ア 生成AIを活用した創薬・治療システムの構築

計画的に収集した臨床情報及び患者検体に対して、ゲノム解析やプロテオーム解析を実施し、得られた高品質なデータをAIで統合・解析することで、有用な各種マーカーをリアルタイムに特定する。これにより、創薬の有効性・安全性・予測性の向上を図り、患者への治療へと還元することを目指している。

イ 難病治験ウェブの構築

現在、治験・臨床研究情報を集約する公的サイトとしてjRCTがある一方で、専門用語が多く、患者にとって利用しづらい面がある。そこで、厚生労働科研の一環として、jRCTのデータを基に、治験・臨床研究の対象疾患や地域などの情報をリアルタイムで患者向けに分かりやすく提供するウェブサイトを、患者会や製薬企業の意見を取り入れ構築した。

ウ 国際連携に関する取組

台北医学大学、日本パスツール研究所や国立陽明交通大学と研究連携協定（MOU）を締結した。

⑤ NIBNセミナー

所内研究者が基礎研究に関する幅広い知識を得るなど、人材の育成を目的に所外から講師を招き開催。連携医療機関、関西医薬品協会へもオンライン公開し、多くの医科学研究関係者に最先端の識見に触れる機会を共有している。

⑥ 一般公開

国民（特に近隣住民）の理解及び信頼を確保するために、取組内容等を発信し、子どもたちを中心とした、幅広い世代に科学の素晴らしさや楽しさを伝えるために開催している。

⑦ プレスリリース

多くの人にとっての希望の灯となるべく、パブリック・リレーションズ（PR）に積極的に取り組み、研究成果の発信を行っている。

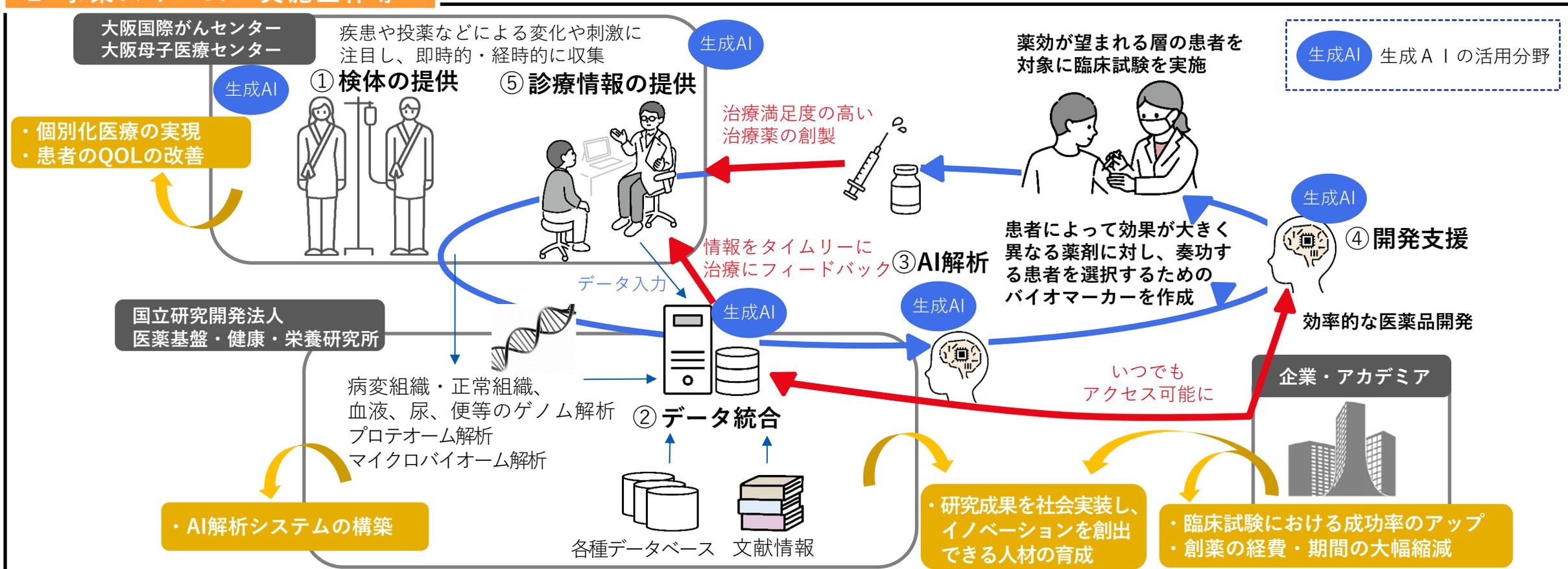
・令和7年：26件

生成AIを活用した患者還元型・臨床指向型の循環システム

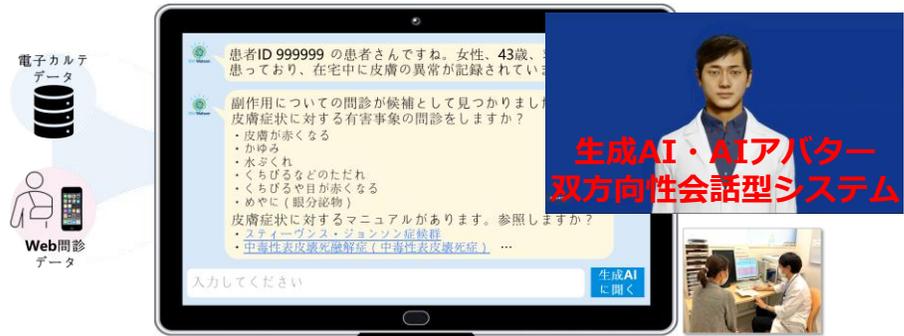
1 事業の目的

新薬研究開発過程における有効性、安全性、予測性の向上のために、詳細な臨床情報と患者検体を計画的に収集し、ゲノム解析、プロテオーム解析、マイクロバイオーム解析など質の高いデータのAI解析により、患者層別化に有用な各種マーカーをリアルタイムに特定する。これらを医療機関と連携して実施し、患者還元型・臨床指向型AI創薬研究に資するプラットフォームを構築し、医学研究・創薬の活性化と医師・研究者の育成を図る。システム構築にあたり、生成AIを用いることにより、臨床情報収集システムの開発、各種アルゴリズムの開発、会話型システムの開発において、事業内容の拡大・充実を図る。

2 事業スキーム・実施主体等



1 患者説明・同意取得、問診AI等



生成AI・AIアバター
双方向性会話型システム

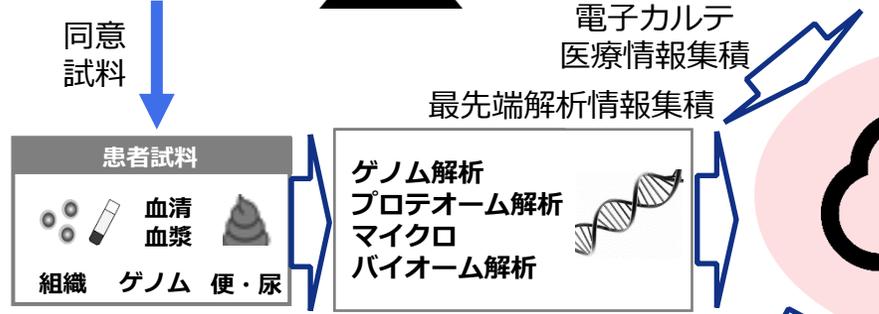
生成AI①
患者説明・同意取得、問診AI等における
双方向性の会話型システムの開発

生成AI⑤
個別化医療・最適化医療のアルゴリズム開発と
生成AIを利用した会話型説明補助システムの開発

- ・疾患説明、同意取得、問診、参加患者登録を実施
- ・クラウドに医療情報と紐づけて集積・管理

臨床現場で
ニーズの
高い課題

2 臨床情報 + 解析情報集積

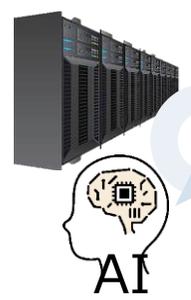


生成AI②
リアルタイムでリアルワールドの
臨床情報収集システムの開発

- ・医療情報のバックアップとして集積
- ・災害時等に活用できるシステム
(ランサムウェア対策)
- ・医薬品・AI開発基盤としてデータ集積



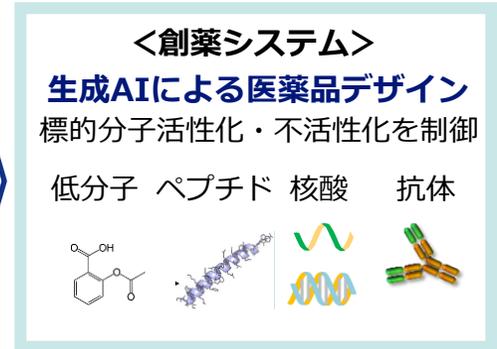
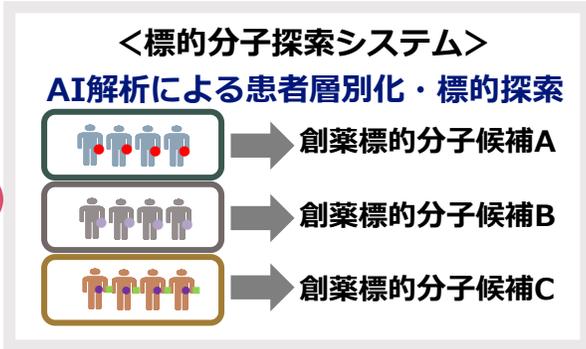
3 AI活用医薬品開発



生成AI③
患者層別化、有効性・副作用予測、
薬剤標的分子探索システムの開発

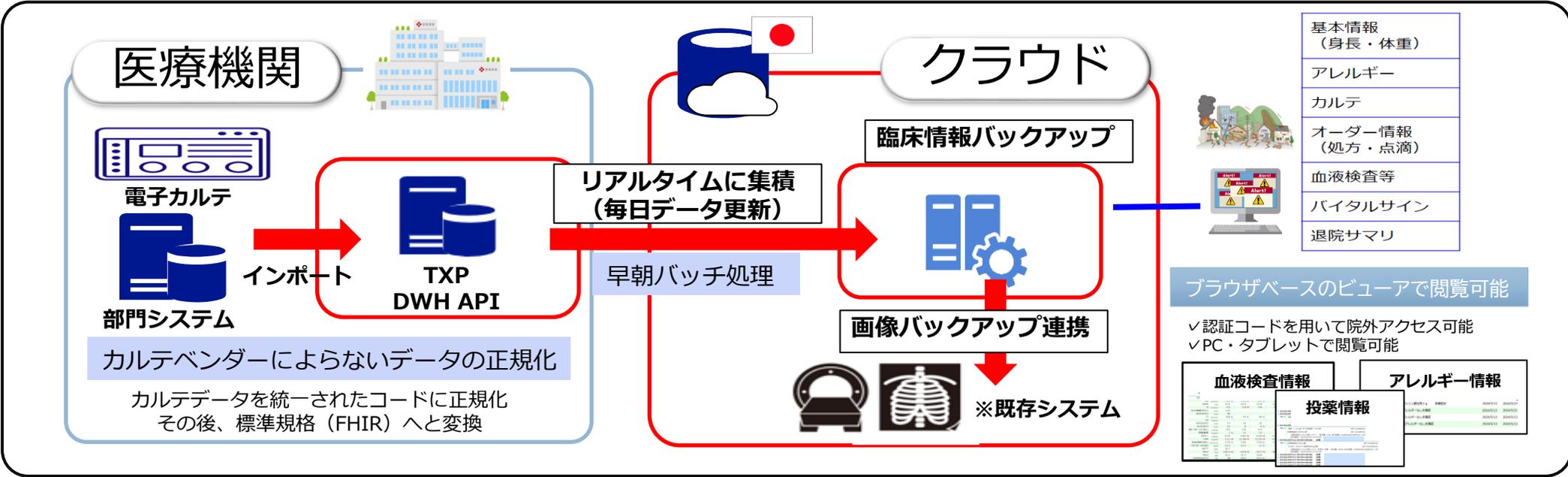
生成AI④
低分子化合物、核酸、ペプチド、
抗体医薬品等の創薬システム開発

創薬研究で
ニーズの
高い課題



リアルタイム・リアルワールドの臨床情報収集を開始

院内バックアップを兼ねたクラウドデータベース（構築完了）



臨床情報を手入力で(一定頻度のエラーが起こる)収集するのではなく、
自動的かつ継続的に収集。(時々刻々変化する患者の状態を反映)

有事にも即応を確認

弊所の有する最先端解析技術 と連携

リアルワールドなビッグデータと
最先端マルチオミクス解析情報
(内閣府PRISM事業にて解析手法は構築完了)

各種DB 文献情報 画像データ マルチオミクスデータ

個人情報 は 厳密に 管理

- ✓ 個人情報をコード化 (仮名化) 管理
- ✓ IC取得患者に限定した第三者へのデータ提供
- ✓ AIによる解析情報を集積・共有化

院内バックアップを兼ねており、
令和7年4月に大阪国際がんセンター
で発生したシステム障害で活用され
診療継続に貢献

一挙四得のデータベース

- 災害・ウイルス対策
- 医療の質を向上
- AIによる産業力アップ
- 患者に即時還元

医療現場に即座に「還元」されるプラットフォームとしての稼働へ！

AIアバターと生成AIチャットボットを組み合わせた双方向性会話型システム

AIアバター説明



疾患説明動画



研究用試料・情報収集説明動画



各種 問診での質の高い患者データの収集
診察前に状態を把握し、患者に寄り添う診察も推進

看護カンファレンスの音声入力や文書
作成といったアプリケーションも検討



✓自由なタイミングで視聴
✓気軽に質問（音声入力可能）

↓

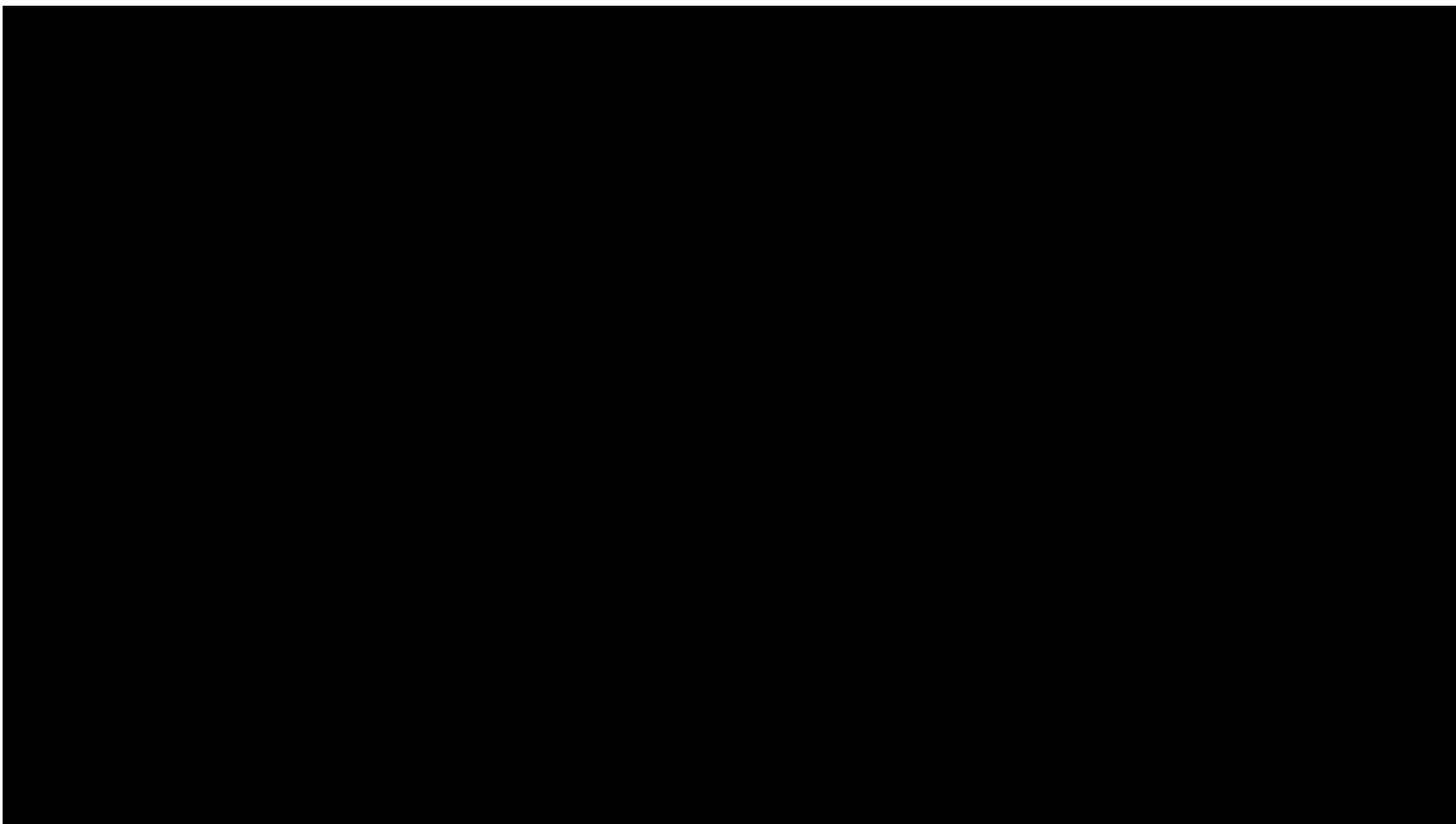
医療現場に負担をかけずに同意
を取得し、患者臨床情報・試料を
収集できる。

患者の満足度を満たしつつ、医療従事者の説明・インフォームドコンセントなどに費やしている時間を人工知能にタスクシフトする。

医療従事者の業務負荷軽減 & 経験や地域を問わない適切な情報提供、患者の疾患理解の向上

医療従事者が費やしていた疾患説明や入院・手術説明の時間を大幅に削減し、業務効率化が実現します。

また、様々なガイドラインといった膨大な医療情報から適切な情報を抽出し、正確な回答を行うため、医療が複雑化する中でも、患者やその家族はいつでもどこでも、双方向でコミュニケーション可能なシステムを通じて適切な情報にアクセスできるようになります。



診察開始前や自宅において必要な情報把握を行い、より患者に寄り添う診察の実現

今回のシステム導入により、問診データの事前認識や、ご自宅でのフォローが可能となります。

例えば、化学療法に伴う吐き気や嘔吐などの症状に対し、生成AIが深掘りした質問をすることで、リスクの早期検知が可能となり、必要に応じて次回診察前の来院といった迅速な対応をとることや、限られた診察時間を患者ごとに異なる治療方針の検討に有効活用できるようになり、より患者に寄り添った診察が実現します。

さらに、デジタル化された情報が院内で共有されることで、医療従事者間での重複した質問が減り、患者の負担軽減へ繋がります。

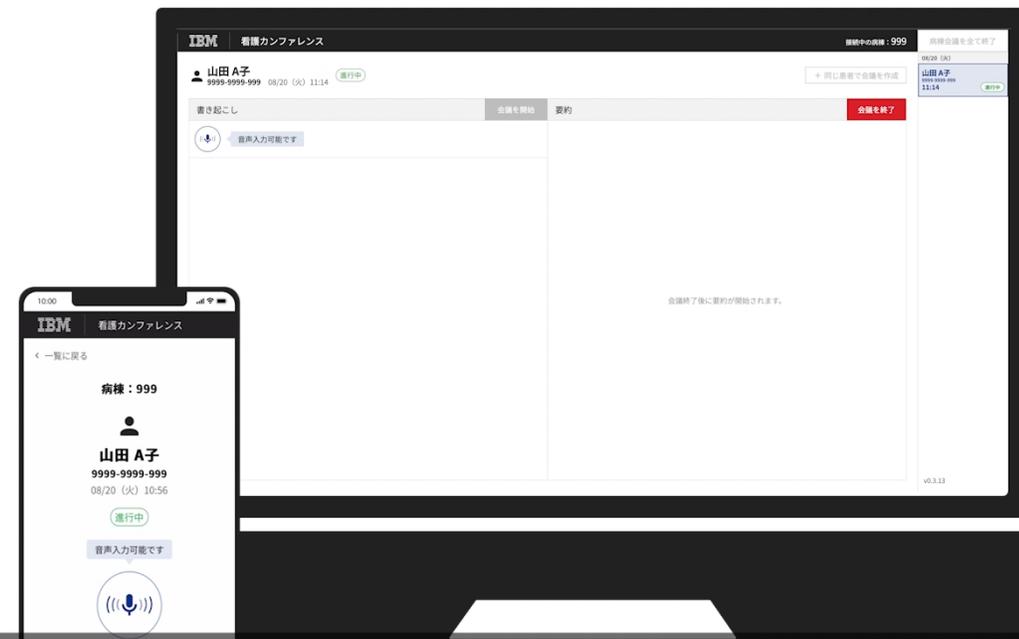


質の高い看護の提供による患者満足度向上

これまで看護師や医師事務が実施していた看護カンファレンスや電話サポートの記録作業を自動化します。これにより、看護師や医師事務の業務負担を軽減し、患者個々に寄り添った質の高いケアに費やす時間を増やすことで、患者満足度の向上を目指します。

カルテ音声自動作成アプリ

医療特化の音声認識



医療特化の音声認識、大規模言語モデルによる要約生成

① 難病治験ウェブ：パイロット版Webサイトの構築

概要

難病の治験実施情報を、患者のニーズに応え、リアルタイムにわかりやすく提供する。ウェブサイトを患者会、製薬協等と連携してパイロット的に構築し、情報提供する。

NIBN 難病・希少疾病治験情報ポータルサイト (仮)

検索 [詳細検索](#)

| | | | | | |
|------|-----|------|-------|-------|------|
| 対象疾患 | 試験名 | 実施機関 | 試験開始日 | 目標症例数 | 関連情報 |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ |

詳細ページ

| | | | |
|-------|---------------------------|-------|-----------|
| 試験名 | ○○○○○○○○ | 目標症例数 | 100人 |
| 対象疾患 | XXX病 | 年齢・性別 | 男性 xx-yy歳 |
| 実施機関 |センター | 関連情報 | |
| 試験開始日 | 2024年X月Y日 | | |
| 連絡先 | リンク | | |

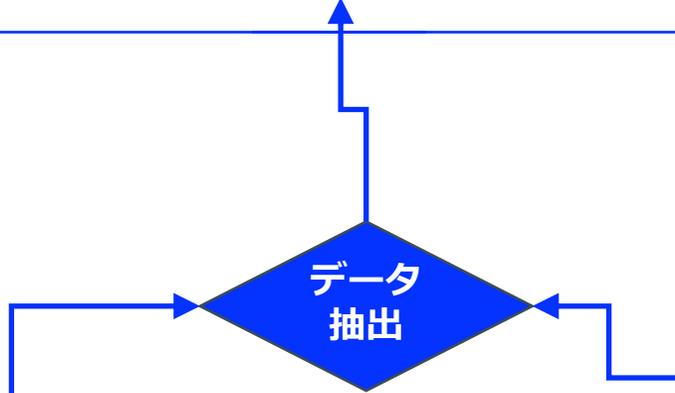


主治医、難病患者さん

ウェブサイト

研究開発政策課 (jRCT) との連携

jRCTから、募集中の治験・臨床研究データを月に1回提供を受ける。NIBN DDrareの辞書をもとに、このデータから難病の治験を抽出・整理し、患者さん向けに項目を選別して、ウェブサイトから情報提供する。



治験・臨床研究データ
募集中のもの (募集前、募集中断、募集終了を含む)

臨床研究・治験計画情報の詳細情報です。

| | |
|-------------------|---|
| 研究の種別 | 企業治験 |
| 治験の区分 | 主たる治験と拡大治験のいずれにも該当しない |
| 初回公表日 | 令和7年2月28日 |
| 最終公表日 | 令和7年6月10日 |
| 中止年月日 | |
| 観察期間終了日 | |
| 研究名称 | 多系統萎縮症患者を対象としたLu AF82422の介入、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験 |
| 平易な研究名称 | 多系統萎縮症患者を対象としたLu AF82422を評価する試験 |
| 研究責任 (代表) 医師の氏名 | 矢澤 政成 |
| 研究責任 (代表) 医師の所属機関 | ルンドベック・ジャパン株式会社 |
| 研究・治験の目的 | 検証的試験 |
| 試験のフェーズ | 3 |
| 対象疾患名 | 多系統萎縮症 |
| 進捗状況 | 募集中 |
| 医薬品等の一般名称 | Lu AF82422 |
| 販売名 | 未定 |



臨床研究等提出・公開システム



ddrare.nibn.go.jp

辞書データ
難病疾患名等

jrct.mhlw.go.jp

厚生労働省 難治性疾患政策研究事業 難病の克服に向けた研究推進と医療向上を図るための戦略的統括研究 (研究代表者：名古屋医療センター・直江知樹)

研究連携協定（MOU）締結実績

（1）令和6年9月2日 台北医学大学 [台湾]



（2）令和6年9月20日 日本パスツール研究所 [フランス]



（3）令和7年6月12日 国立陽明交通大学工程生物科学学院 [台湾]

台北医学大学（TMU）との活動

・ドラゴンゲートプログラムの開始

ドラゴンゲートプログラムとは、台湾政府が採択する世界トップレベルの研究機関との連携プログラム。厳格な選考を突破し、令和5年12月にTMUとNIBIN間のプログラムが採択（日本では国立研究開発法人4法人、大学5校のみの実績）。

令和7年1月、ポスドク研究員・博士課程学生が来日し、1～2年間のドラゴンゲートプログラムを開始。

・栄養分野の研究活動

台北医学大学高齢者栄養研究センターと連携して「高齢者のフレイル予防または遅延のための栄養ケアモデルの開発」に関わる国際比較研究を計画し、日本では令和7年度に大阪府摂津市においてパイロット研究を実施中。

日本パスツール研究所との研究連携協定

微生物・感染症分野において世界を牽引してきたパスツール研究所（フランス）の日本法人、一般財団法人日本パスツール研究所と、医薬品・ワクチン開発等に関する研究連携協定（Memorandum of Understanding: MOU）を締結。

世界に30拠点以上を有するパスツール研究所と連携することで、当法人の研究リソースや研究成果を世界に還元するとともに、研究者により多くの機会を提供する契機とする。また、今後、当法人の有する生物資源研究や健康・栄養に係る研究を軸に日本パスツール研究所との研究連携を推進する予定。

国立陽明交通大学工程生物科学学院との研究連携協定

「医薬品及び関連技術の向上」及び「健康寿命の延伸」の分野における共同研究を実施するため研究連携協定（Memorandum of Understanding: MOU）を締結。今後、両機関の協力・調整、相互支援を促進していく予定。

令和6年度

| | |
|-----|--|
| 4月 | 田中医療創造研究所 代表 田中 紘一 |
| 5月 | 東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター 公共政策研究分野 教授 武藤 香織 |
| 6月 | 大阪大学ワクチン開発拠点 先端モダリティ・ドラッグデリバリーシステム研究センター 拠点長 審良 静男 |
| 7月 | 国立がん研究センターがんゲノム情報管理センター(C-CAT)センター長 研究所 ゲノム生物学研究分野 分野長 河野 隆志 |
| 9月 | 国際医療福祉大学 副学長 小室 一成 |
| 10月 | 東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻 人類遺伝学分野 教授 藤本 明洋 |
| 11月 | 虎の門病院 院長 門脇 孝 |
| 12月 | がん研究会有明病院 顧問 医療情報部長 小口 正彦 |
| 1月 | 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授 坂口 志文 |
| 2月 | 京都大学iPS細胞研究所(CiRA) 特定拠点教授 戸口田 淳也 |
| 3月 | 山口大学大学院医学系研究科 免疫学講座 教授 山口大学細胞デザイン医科学研究所 所長 玉田 耕治 |

令和7年度

| | |
|------------|---|
| 4月 | 国立健康危機管理研究機構・国立国際医療研究所 ゲノム医科学プロジェクト長 ナショナルセンターバイオバンクネットワーク・中央バイオバンク長 徳永 勝士 |
| 6月 | 国立研究開発法人理化学研究所 自己免疫疾患チーム チーム ディレクター 山本 一彦 |
| 9月 | 北海道大学病院 呼吸器外科 教授 加藤 達哉 |
| 10月 | 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 研究所長 梅澤 明弘 |
| 11月 | 大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科学 教授 土岐 祐一郎 |
| 12月 | 福岡がん総合クリニック 院長 森崎 隆 |
| 1月 | 東京大学 特別栄誉教授 宮園 浩平 |
| 2月 (予定) | 日本医療研究開発機構 理事長 中釜 斉 |
| 3月 (予定) | 帝京科学大学教授 中村 幸司 |

■ 医薬基盤研究所（彩都）
10月25日（土）：約780名来場

NIBN 入場無料
令和7年度 医薬基盤・健康・栄養研究所 一般公開(彩都)

まな かがく 学ぼう、科学を！
たいけん たの 体験しよう、科学の楽しさ！

10/25 10時～16時 (開場9時30分)
当日直接会場へ。ただし、整理券マークのあるイベントは予約が必要(抽選)

参加型イベント

- よ～いどん！ チップつめ競争
- 持ち帰れる顕微鏡！Foldscopeで探るミクロの世界
- ドクター-KNOT!【外科結びバトル】
- バスボムをつくるよ!
- キラキラスライムをつくらう!
- カタフルな人工いくらでスノードームづくり
- こうたいラボで大発見!くっつく?くっつかない?

サイエンスカフェ いずれも

- 10:15～11:00 山本新也先生
免疫を知ろう!～免疫も歳をとる?加齢と免疫の関係性～
- 11:15～12:00 片桐豊彦所長
鼻音に気づく?お鼻の働き～器用な鼻の働きも目撃して～
- 12:30～13:15 夏目やよい先生
AI x くすり =? 未来を作るAIのちから
- 13:30～14:15 岡澤村剛所長
腸ってすごい!腸が教えてくれる健康のヒミツ
- 14:30～15:15 小原弘先生
よろこばれたい世界へくすりづくりにおける細胞の役割～
※小原先生の目の夢は、カフェでは完了。研究発表の見学を予定
対象：中学生以上

展示

- 見えない臓の正体に迫る!顕微鏡とデータから探る感染症
- プロテオームはなんだろう???
- 薬物の薬づくりをサポート データベースバイオバンク
- いろいろな細胞に変化する“幹細胞”ってなあに?
- 私たちの健康を支える腸内環境の役割!腸内環境研究の最先端を体験!
- がんを遺伝子から紐解く

会場は見えない研究者と、カフェで一緒に話ませんか?
※イベントは変更の可能性がございます ※チケットを渡された来場はご遠慮ください
※小学校低学年以下は保護者同伴
上記はイベントの一部です。ほかにもイベント盛りだくさん!

場所 A 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 彩都本館5階507号室(大夏ホール)「彩都館」(彩都 10月25日)

お問合せ 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 TEL:072-641-9832

■ 国立健康・栄養研究所（健都）
11月16日（日）：約1,810名来場

医薬基盤・健康・栄養研究所 一般公開(健都)
OPEN HOUSE 2025
2025.11.16 10:00-16:00
in 健都イノベーションパークNKビル

普段見ることのできない研究所を公開します
親子で楽しもう

健都フェスと同日開催!

おたのしみ企画
ハルゲイをゲットしよう!

当日は、健都イノベーションパークNKビルで健康体験スタンプラリーを実施!ビル内のチェックポイントを全てクリアすると、オリジナルノベルティをゲットできるよ!

科学実験体験! (整理券)
「紫キャベツは何色?体験でわかるpHと色のしくみ」
「野菜・果物の重量当てクイズ」
好きな野菜アンケート
握力を測定してみよう!
代謝を測定してみよう!
(整理券)

整理券は、当日現地にて先着順で配布します!
なお、マークがない企業は当日予約なしで体験いただけます。(一部企業は12:00～13:00休止)
科学実験体験 (整理券) → 毎時00分と毎時30分開始時間として各回24名(12:00及び13:30は休止)
代謝測定 (整理券) → 毎時00分と毎時30分開始時間として各回4名(12:00及び13:30は休止)

--- ACCESS ---
熊本市千早丘駅前3-17 健都イノベーションパークNKビル1階
【徒歩でお願いします】
JR京浜線「岸辺駅」から徒歩5分
TEL:06-6384-1120

※お車の来場はできません。
※会場内は予約なく変更する場合があります。
※写真の撮影は行っておりませんので、写り込みの可能性がござりますこと、ご了承ください。

NIBN



【健都】



カ プレスリリース一覧（令和7年実績）①

| 研究所／センター名 | プレスリリース名／URL |
|--|---|
| 医薬基盤・健康・栄養研究所 | 来年度より法人設立10周年を機にロゴと英語略称を刷新 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250117_logo.html |
| ヘルス・メディカル微生物研究センター （腸内環境システムプロジェクト） | 陸上長距離走者の腸内細菌叢に関する縦断的観察共同研究を開始 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250123.html |
| 難病・免疫ゲノム研究センター （プレシジョン免疫プロジェクト） | COVID-19重症化メカニズムを解明 高齢者の重症化予防にも重要な知見 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250124.html |
| 難病・免疫ゲノム研究センター （難病・免疫ゲノム研究プロジェクト） | 個別化ネオアンチゲンワクチン療法の膵臓がんでの治療効果を検証 膵臓がんに対する新しい免疫療法の可能性 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250410.html |
| 難病・免疫ゲノム研究センター （難病・免疫ゲノム研究プロジェクト） | 大腸がんのAPCネオアンチゲンに対するがん免疫療法の開発 ～より多くの患者を迅速に治療可能な次世代免疫治療に期待～ https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250515.html |
| ヘルス・メディカル微生物研究センター （腸内環境システムプロジェクト） | 日本人に多い3種類の腸内細菌に対するモノクローナル抗体を樹立！ https://www.nibn.go.jp/pr/press/2024-009207.html |
| ヘルス・メディカル微生物研究センター （細菌情報学プロジェクト） | PM2.5が引き起こす呼吸器障害メカニズムを解明 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250529.html |
| 医薬基盤・健康・栄養研究所 | 創立10周年記念行事開催のお知らせ https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250530.html |

カ プレスリリース一覧（令和7年実績）②

| 研究所／センター名 | プレスリリース名／URL |
|---|--|
| 医薬基盤・健康・栄養研究所 | まずは1品から！おいしく減塩お惣菜コンテスト 国民の健康寿命延伸と医療費削減を目指して https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250520.html |
| ヘルス・メディカル微生物研究センター （ワクチンマテリアルプロジェクト） | オメガ3脂肪酸などの迅速精密合成法の開発と新しい抗炎症性脂肪酸の発見 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250623.html |
| 難病・免疫ゲノム研究センター （難病情報資源研究プロジェクト） | 「難病治験ウェブ」発表会開催のお知らせ～難病患者の未来のために～ https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250630_n.html |
| 創薬デザイン研究センター （人工核酸スクリーニングプロジェクト） | 腹膜播種を有する進行胃癌に対する新たな挑戦 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250630_k.html |
| 薬用植物資源研究センター （薬用植物スクリーニングプロジェクト） | 天草市と東京生薬協会及びNIBNの連携協定締結 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250709.html |
| ヘルス・メディカル微生物研究センター （細菌情報学プロジェクト） | 劇症型溶連菌感染症の発症メカニズムにかかわる新たな遺伝子変異を解明 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250730.html |
| 医薬基盤・健康・栄養研究所 | WHO協力センターとしての年次報告書を掲載しました https://www.nibn.go.jp/pr/press/2025-0730-1129-60.html |
| 難病・免疫ゲノム研究センター （プレシジョン免疫プロジェクト） | 住友ファーマ創出の新規TLR7ワクチンアジュバント（DSP-0546）を用いた新規ユニバーサルインフルエンザワクチン候補製剤の臨床試験（フェーズ1試験）の中間解析について https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250731.html |

カ プレスリリース一覧（令和7年実績）③

| 研究所／センター名 | プレスリリース名／URL |
|--|---|
| ヘルス・メディカル微生物研究センター （腸内環境システムプロジェクト） | 腸内細菌間のコミュニケーションの一部が明らかに https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250801_1.html |
| AI健康・医薬研究センター （バイオインフォマティクスプロジェクト） ヘルスケア・メディカル微生物研究センター （ワクチンマテリアルプロジェクト） | ワクチンと免疫療法薬の前臨床評価を促進する「アジュバントデータベース」を公開 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250811.html |
| 医薬基盤・健康・栄養研究所 | 「おいしい減塩お惣菜のアイデア」全国からチャレンジャー募集中 —金賞20万円！あなたの作品が国民の循環器予防・健康寿命延伸につながる— https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250818.html |
| 医薬基盤・健康・栄養研究所 | シミュレーションによりヨーグルト※1の適量摂取※2に関連する2型糖尿病と医療費 の変化を試算 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20250929_1.html |
| 医薬基盤・健康・栄養研究所 | 「AI創薬プラットフォーム事業」の共同研究において、患者に寄り添う医療のための 問診生成AIおよび看護音声入力生成AIの実運用を開始 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20251001_2.html |
| 難病・免疫ゲノム研究センター （プレジジョン免疫プロジェクト） | 住友ファーマ創出の新規TLR7ワクチンアジュバント（DSP-0546）を用いた 新規ユニバーサルインフルエンザワクチン候補製剤の欧州フェーズ1試験結果に関する 学会発表について https://www.nibn.go.jp/pr/press/20251001.html |
| 創薬デザイン研究センター （人工核酸スクリーニングプロジェクト） | 遺伝性難病 嚢胞性線維症の治療に新たな可能性 ユビキチンリガーゼ RFFLを標的とするアンチセンス核酸の開発に成功 https://www.nibn.go.jp/pr/press/20251114_2.html |

カ プレスリリース一覧（令和7年実績）④

| 研究所／センター名 | プレスリリース名／URL |
|------------------------------------|---|
| 栄養疫学・政策研究センター （栄養社会科学研究室） | 食品関連事業者のための製品の減塩ガイドを公開 事業者の自主的な減塩の取組を支援する実践的手引き https://www.nibn.go.jp/pr/press/20251120.html |
| 医薬基盤・健康・栄養研究所 | 全国から注目のファイナリスト決定！ —20都府県、小学生から90歳代までの応募者から書類審査を通過した東京・静岡・京都・大阪・兵庫の8組が決勝戦へ— https://www.nibn.go.jp/pr/press/20251201.html |
| 難病・免疫ゲノム研究センター （プレシジョン免疫プロジェクト） | 新規TLR7アゴニスト「SA-5」の前臨床安全性と有効性をカニクイザルモデルで実証 ～慢性感染症治療に向けた次世代免疫賦活薬候補～ https://www.nibn.go.jp/pr/press/20251210.html |